約束４-(1)　子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】

めざす姿

子育てに適した環境が整って、安心して子どもを産み、元気に育てることができ、子ども達の笑顔があふれています。

めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）

	指標名	取得方法	単位	基準値	上段：年度別目標値 下段：年度別現状値 22	23	24	25	H24目標値に対する達成率	H25目標値に対する達成率
①	合計特殊出生率1.30を目指します。（市町村別合計特殊出生率（５年毎に公表）の次回公表予定：平成25年度）	人口動態統計市町村合計特殊出生率	－	1.19	―	―	―	1.30	―	―
					―	―	―			
	【参考】AP2013指標 子育て支援サービスに満足している市民を増やします。	市民評価アンケート	%	27.2	―	―	―	30.0		
					―	―	23.6			
②	保育所待機児童数　0人を維持します。 ※産休・育休明け、年度途中就労による入所基準を改善します。	業務取得	人	0	0	0	0	0	○	○
					0	0	0			
③	放課後待機児童数　0人を目指します。	業務取得	人	15	0	0	0	0	○	○
					0	0	0			
④	放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。	市民評価アンケート	%	29.5	―	―	40.0	45.0	×	―
					29.5	31.8	28.8			
	【参考】AP2013指標 放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。 ※実績値を修正（「わからない」又は「無回答」を除いて再設定）	市民評価アンケート	%	35.2	―	―	40.0	45.0		
					35.2	41.6	35.6			
⑤	子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。	市民評価アンケート	%	25.3	―	―	35.0	40.0	×	―
					25.3	24.5	25.2			
⑥	青少年の健全育成活動（子ども会等を含む）に参加したことがある市民を増やします。	市民評価アンケート	%	15.6	16.0	17.0	18.5	23.0	○	○
					20.3	24.1	25.3			

H24目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　×:目標を達成できない　－:判断できない
H25目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　－:目標を達成できない・判断できない

関連指標名	取得方法	単位	上段：数値取得時期　下段：取得数値					
弘前市の出生率(人口千対)の推移(①合計特殊出生率の関連指標) (数値は暦年で取得)	青森県保健統計年報	人	H18	H19	H20	H21	H22	H23
			7.3	6.8	7.4	6.9	7.1	6.5
【参考】AP2013指標 合計特殊出生率1.30を目指します。(市町村別合計特殊出生率(5年毎に公表)の次回公表予定:平成25年度)	人口動態統計市町村合計特殊出生率	人	S63-H4	H5-H9	H10-H14	H15-19		
			1.45	1.44	1.3	1.19		

約束全体の評価

めざす姿の達成状況を示す指標6項目について、平成24年度の目標値に対する達成率は、「目標を達成済み」が3項目、「目標を達成できない」が2項目、「判断できない」が1項目となっており、達成率は高いとはいえない状況にあります。

平成24年度における注目指標である人口動態統計による市町村別の合計特殊出生率は、国が5年に1度公表しており、次回公表されるのは平成25年度（平成26年2月ころ）の予定となっております。したがって、「①合計特殊出生率　1.30を目指します。」については平成24年度において判断できない状況にあります。そこで、青森県保健統計年報により毎年公表される、人口千対の出生率を代替指標として平成18年から平成23年（直近の公表値）までの推移を見ると、複数年にわたる増加または減少といった一定の傾向を示しているとはいえないと考えます。
なお、第三者評価による提言を踏まえアクションプラン2013では、この指標を「①子育て支援サービスに満足している市民を増やします。」に変更するとともに合計特殊出生率を関連指標として再設定いたしました。
「②保育所待機児童数0人を維持します。」と「③放課後待機児童数0人を目指します。」は目標を達成しております。
「④放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。」と「⑤子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。」については、中学生までの子どもと同居している市民を対象とした現状値として、それぞれ28.8%、25.2%となっており、④、⑤共にほぼ横ばいとなっており、共に平成24年度の目標値は達成できませんでした。
「⑥青少年の健全育成活動（子ども会等を含む）に参加したことがある市民を増やします。」については、目標を達成しておりますが、逆に「参加したことがない」と回答した市民が７割を超えているため、これまで以上に青少年健全育成活動の必要性を市民にアピールする必要があると考えます。

次に個別施策の実施状況ですが、「進捗率」では8項目すべてが「工程表どおり実施済み」となっており、「達成率」では8項目のうち、「目標を達成済み」が6項目、「順調に推移」が1項目、目標を設定していないため「判断できない」ものが1項目となっています。

施策の実施状況や指標全体の傾向、目標の達成状況等を総合的に勘案すると、子育てに適した環境は高まる傾向が見られ、めざす姿に向けては**おおむね順調に推移している**と考えます。

今後とも、平成23年10月に策定した「Smile弘前子育てマスタープラン」の方針に沿った事業やアクションプラン掲載事業、エボリューション３に掲げた事業を実施していくことにより、ますます子育てに適した環境が整備されていくものと考えております。

平成24年度から実施している「子育てスマイル(住まいる)アップ補助金」は、子育てに適した住宅の新築・購入・リフォームに係る経費の一部を補助する制度で、予算額の2倍を超える応募があったため公開抽選を実施しており、利用者から好評を得ています。
さらに、18歳未満の子どもが3人以上いる場合、市の公共施設の利用料を免除する「多子家族応援パスポート事業」や18歳までの子どもの入院に係る医療費を無料化する「子ども医療費給付事業」を今年度から実施するなど、子育てしやすい環境の整備を進め、子育て支援サービスに満足している市民が増えるよう取組みを強化しております。

個別施策の実施状況

項目	事務事業数	進捗率	達成率
【“子育ては弘前で”子ども達の笑顔あふれるひろさきを目指します】			
○１　「子育てスマイル（住まいる）アップ補助金」の支給	1	A	A
○２　休日や夜間・早朝など保育時間の弾力化と学童保育体制の充実	2	A	A
○３－１　子育て支援課の設置とSmile弘前子育てマスタープラン策定	2	A	－
☆３－２　Smile弘前子育てマスタープラン推進	3	A	A
●４　子育て支援センターの整備（高齢者と子どもの交流や集いの広場、地産地消食育レストラン、地域子育てサポーター〈高齢者による夜間休日保育ボランティア〉配置、ｅｔｃ）	1	A	A
●５　児童館の再編・改築	3	A	A
●６　親力向上委員会（弘前式しつけマニュアルの策定）の設置	1	A	A
●７　子供会活動の活性化（地域コミュニティの復活）	2	A	B

進捗率　A:工程表どおり実施済み　B:概ね工程表どおり　C:工程表より遅れている　－:未着手
達成率　A:目標を達成済み　B:順調に推移　C:遅れている　－:判断できない

上段：年度別概算所要額（単位：千円）／下段：年度別決算額（単位：千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
129,385	93,936	118,352	118,747
117,361	92,122	124,121	

<table>
<tr><th>No.</th><th>項目</th><th>実施内容</th><th>自己評価</th><th colspan="5">平成24年度実施内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">4-(1)-1</td><td rowspan="6">「子育てスマイル（住まいる）アップ補助金」の支給</td><td rowspan="4">子育て家庭に対する経済的支援策として、子育てに適した住環境の創出及び定住促進を図るため、市内施工業者を活用して、住宅の新築や中古住宅等の購入または住宅の増改築等のリフォーム工事を行った者に対し、弘前市子育てスマイル（住まいる）アップ補助金を交付する。</td><td>進捗率</td><td colspan="5" rowspan="2">工程表どおり平成24年4月から補助事業を実施したことから、<u>「工程表どおりに実施済み」</u>と評価した。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><td>達成率</td><td colspan="5" rowspan="2">目標を「補助件数　80件/年」としているが、実績は75件となった。補助件数がわずかに見込みを下回ったものの、その理由としては、抽選結果の新築・購入に係る補助の割合が想定より高かったことと年度終盤で辞退が出たためである。結果として予算額の2倍を超える申請があり、ほぼ予算額どおりの補助により、子育てに適した住環境の整備に寄与することができたことから<u>「目標を達成済み」</u>と評価した。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr>
<tr><td colspan="2">補助件数 80件/年</td><td>－</td><td>－</td><td>75</td><td></td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="2">決算額</td><td>0</td><td>0</td><td>24,275</td><td></td></tr>
<tr><td>子育てスマイル（住まいる）アップ補助事業</td><td>今後の課題</td><td colspan="5">現時点で今年度の実施方法について、申請者や施工業者からの意見・要望等は出ていないが、今後の実施状況や利用者からの意見等を踏まえ、次年度以降の実施方法について検討していく。</td></tr>
</table>

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-2	休日や夜間・早朝など保育時間の弾力化と学童保育体制の充実	進捗率 A	施策を構成する2事業について、共に「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価とした。
		達成率 A	施策を構成する2事業について、共に「目標を達成済み」となっていることから、施策全体としても**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(1)保護者が平日の夜間、就労等の都合で児童を家庭で養育することが困難な場合などに、保護を適切に行うことができる施設においてその児童を保護し、生活指導、食事の提供等を行う。	(1)トワイライトステイ(夜間養護等)事業	進捗率 A	弘前愛成園に併設される児童家庭支援センター「太陽」に引き続き委託し、事業を実施したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。 児童館・児童センターの閉館時間に合わせ、平日の利用開始時間を30分早め、午後5時30分からとし、利用しやすいようにした。周知とともに利用実績が増えている。
		達成率 A	目標は「実施施設数1か所」としており、目標を達成済み。 参考指標としての利用児童数 100人/年は実績が 817人であることから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
実施施設数 1か所	－	1	1	
利用児童数 100人/年	－	137	817	
決算額	0	1,606	2,240	

今後の課題	平成25年度で委託料を増額しているが、利用児童の増加が著しく、従事する職員を増員するために更なる増額の検討を要する。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)放課後児童健全育成事業(なかよし会)(※31)について ①時間延長する施設の段階的な拡大により、学童保育体制を充実する。 延長時間については、弾力的に運用し、地域の実情に合った体制とする。また、地域の協力を得ながら時間を延長する方策について検討する。 ②お盆期間に開会する。	(2)放課後児童健全育成事業	進捗率 A	平成24年度は6か所において時間延長(閉会時間を30分遅くし、土曜日と長期休業期間には開会時間を30分早めた。)を実施し、お盆期間に4か所で開会したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標の1つ「実施施設数」は、平成24年度 6か所で時間延長を実施済み。 もう1つ「お盆期間の開会」は5か所で開設予定で希望者を募ったところ1か所で利用希望がなかったため4か所で開設したことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
実施施設数 H23 4か所、H24 6か所、H25 8か所	－	4	6	
お盆期間に開会する(H24 5ヵ所程度で実施)	－	－	4	
決算額	0	1,610	2,274	

今後の課題	子ども・子育て新システム導入後は対象が小学6年生まで拡大される予定であり、開設場所の面積の問題が生じてくる。児童館・センターや小学校の統廃合との兼ね合いでなかよし会の実施・廃止が生じる。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-3-1	子育て支援課の設置とSmile弘前子育てマスタープラン策定	進捗率 A	施策を構成する2事業について、共に「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 －	施策を構成する2事業について、共に目標が未設定であり「判断できない」との評価になっていることから、施策全体としても**「判断できない」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
「子育て支援課」を設置し、子育て支援策の充実・強化を図る。	子育て支援課設置	進捗率 A	平成22年7月に「子育て支援課」を設置済みであり、平成24年度においても引き続き子育て支援策の充実・強化を図っていることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 －	組織の設置であり、目標を設定していないので**「判断できない」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
―	－	－	－	
決算額	－	－	－	

今後の課題	既存メニューのほか、新規事業のメニューを着実に実施してゆくためには、人員体制の強化が必要と思われる。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
安心して子どもを産み育てることができ、子どもの笑顔あふれる弘前を目指し、弘前市の将来を支える子どもに関する施策の基本的な指針となる「Smile弘前子育てマスタープラン」を策定する。 地域の実情を把握し弘前らしさを十分考慮したものとする。	Smile弘前子育てマスタープラン策定	進捗率 A	平成23年10月に「Smile弘前子育てマスタープラン」を策定済みであり、平成24年度においてもプランに基づいた事業を実施し、進行管理したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 －	平成24年度は目標を設定していないので**「判断できない」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
弘前市子ども・子育て支援推進協議会開催（H22～H23）　2回/年	2	2	－	
（仮称）子ども・子育て支援シンポジウム開催 1回（H22）	0	1	－	
決算額	489	934	0	

今後の課題	協議会の委員の任期がH24年12月で切れているため、次回の協議会開催に先立ち公募委員選考を経て委嘱する必要がある。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 4-(1)-3-2	Smile弘前子育てマスタープラン推進	進捗率 A	施策を構成する4事業について、いずれも「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価とした。
		達成率 A	施策を構成する4事業について、いずれも「目標を達成済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
平成23年10月に策定したSmile弘前子育てマスタープランに基づき、弘前ならではの施策として、「子育てに適した住環境への支援」、「仕事と子育ての両立支援の推進（ワークライフバランスの実現）」、「学生・大学等の力を活用した支援体制の確立」を実施し、プランの推進を図る。 ※「子育てに適した住環境への支援」については4-(1)-1で実施。 また、弘前市子ども子育て支援推進協議会において、プランの進行管理を行う。	【再掲4-(1)-1】 子育てスマイル（住まいる）アップ補助事業	進捗率 A	工程表どおり平成24年4月から補助事業を実施したことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標を「補助件数　80件/年」としているが、実績は75件となった。補助件数がわずかに見込みを下回ったものの、その理由としては、抽選結果の新築・購入に係る補助の割合が想定より高かったことと年度終盤で辞退が出たためである。結果として予算額の2倍を超える申請があり、ほぼ予算額どおりの補助により、子育てに適した住環境の整備に寄与することができたことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
補助件数　80件/年	－	－	75	
決算額	0	0	（再）24,275	

今後の課題	現時点で今年度の実施方法について、申請者や施工業者からの意見・要望等は出ていないが、今後の実施状況や利用者からの意見等を踏まえ、次年度以降の実施方法について検討していく。

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
（仮称）ワークライフバランス啓発セミナー	進捗率 A	工程表どおり、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナー等（フォーラム）を実施したことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
	達成率 A	目標はセミナーを年1回開催すると設定しており、H24.8.30に県との共催により「ワーク・ライフ・バランス」フォーラム in 弘前を開催したことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
セミナー開催　1回/年	－	－	1	
【参考】セミナー等で啓発された参加者の割合　80%	－	－	－	
決算額	0	0	295	

今後の課題	企業の経営者や人事部門の人などに多数参加してもらうこと。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
平成23年10月に策定したSmile弘前子育てマスタープランに基づき、弘前ならではの施策として、「子育てに適した住環境への支援」、「仕事と子育ての両立支援の推進（ワークライフバランスの実現）」、「学生・大学等の力を活用した支援体制の確立」を実施し、プランの推進を図る。 ※「子育てに適した住環境への支援」については4-(1)-1で実施。 また、弘前市子ども子育て支援推進協議会において、プランの進行管理を行う。	大学の力を活用した子育ち・子育て支援プログラム調査研究	進捗率 A	工程表どおり調査研究を委託し、報告書の提出を受けたことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標は調査研究1件と設定しており、**「目標を達成済み」**と評価した。				
		目標	H22	H23	H24	H25	
		調査研究　1件	－	－	1		
		【参考】研究成果を反映させた事業数　H25　1件	－	－	－		
		決算額	0	0	1,258		
		今後の課題	調査研究報告書にある提言等を踏まえた事業の実施に向けて新年度予算要求までに検討する。				
	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
	弘前市子ども子育て支援推進協議会	進捗率 A	工程表どおり、協議会を開催してSmile弘前子育てマスタープランの進行管理を行ったことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標として会議2回開催（次世代育成支援行動計画の修正で1回、マスタープランの進行管理で1回）予定であったが、同計画の修正とマスタープランの進行管理を1回の協議会開催で行ったことから**「目標を達成済み」**と評価した。				
		目標	H22	H23	H24	H25	
		会議開催　2回/年	－	－	1		
		決算額	0	0	178		
		今後の課題	協議会の委員の任期がH24年12月で切れているため、次回の協議会開催に先立ち公募委員選考を経て委嘱する必要がある。				

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-4	子育て支援センター(※32)の整備（高齢者と子どもの交流や集いの広場、地産地消食育レストラン、地域子育てサポーター〈高齢者による夜間休日保育ボランティア〉配置、etc）	子育て環境の充実のため、子育て支援センターの取り組みを次のとおり行う。 (1)新規子育て支援センターの設置 街中の高齢者や子連れの母などが集まり易い場所に民間との協働によりひろば型子育て支援センター(※33)を新設する。 ・事業内容 高齢者とのふれあい、食育事業、親同士の交流　など (2)既設支援センターの充実 大成なかよし会（土手町分庁舎内）において出張センターを開設する。 ・事業内容 高齢者とのふれあい、食育事業など	進捗率 A	(1)新規子育て支援センターの設置 駅前地区再開発ビル「HIRORO」を設置場所として決定し、設置条例、規則を制定。 平成24年度補正予算で、設計業務を委託し、平成25年3月からは整備工事に着手するなど、平成25年7月の供用開始に向けた準備を行った。 (2)既設支援センターの充実 土手町分庁舎で月２～3回、出張センターを開設し、三世代交流講座として延べ27回実施した。 (1)、(2)の実施内容から**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
			達成率 A	(1)の目標「子育て支援センター設置1か所」は、平成24～25年度を設置時期としているため、達成率の判断は次年度以降とする。 (2)の目標「出張センター事業参加者数　1,000人/年」は実績が1,406人であったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
子育て支援センター設置 1か所	－	－	－	
出張センター事業参加者数 1,000人/年	－	1,255	1,406	
決算額	0	1,191	112	

事務事業名	今後の課題
子育て支援センター運営事業	実際に駅前こどもの広場の事業を実施してから、課題を整理することとしたい。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-5	児童館の再編・改築	進捗率 A	施策を構成する3事業について、いずれも「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体として**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	施策を構成する3事業については、(1)①及び(2)が「目標を達成済み」となっており、(1)②は目標を設定しておらず「判断できない」となっているが、(1)②はH23の目標（トイレ水洗化率100%）を維持していることから、施策全体として**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
子育て環境の充実を図るために、次の取り組みを行う。 (1)施設整備事業 ①児童館未設置地区への創設や老朽化の著しい施設、同一小学校区に重複している施設等の再編・改築を順次実施する。 ②施設のトイレ水洗化を推進する。	(1)施設整備事業 ①児童館・児童センター(※34)建設事業	進捗率 A	平成24年度は、城東児童館を新設し、建設工事が年度内に完了していることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標では、平成23年度から1か所ずつの建設としており、平成24年度では城東児童館を建設したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
創設または老朽化施設の更新施設数（H23～H25） 1か所/年	―	1か所	1か所	
決算額	0	65,533	78,029	

今後の課題	修斉・草薙小の統合に合わせて、草薙児童館等（修斉なかよし会）のあり方を検討する。

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(1)施設整備事業 ②児童館トイレ水洗化事業	進捗率 A	トイレ水洗化未実施の児童館2館を平成23年度に改修済みであり、引き続き使用していることから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 ―	平成24年度では目標を設定していないので**「判断できない」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
トイレ水洗化率　目標値(H23) 100%	92%	100%	－	
決算額	6,138	6,586	0	

今後の課題	―

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)弘前市北児童センターを設置し、同児童センターを拠点とした地域活動・交流のモデルを目指す。	(2)弘前市北児童センター建設事業	進捗率 A	平成23年4月1日に供用を開始しており、平成24年度も引き続き児童センターにおいて地域活動・交流の取組みを実施していることから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標は「地域活動・交流の取り組み件数 40件/年」としており、平成24年度の実績は79件だったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
新規施設設置 1か所	1	－	－	
地域活動・交流の取り組み件数 40件/年	－	41	79	
決算額	110,664	14,483	14,622	

今後の課題	―

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-6	親力向上委員会（弘前式しつけマニュアルの策定）の設置	子育て世帯の家庭教育を支援するために親力向上委員会を設置し、子育ての知識や相談機関・支援メニューなどを総合的に記載した弘前版のしつけマニュアルを作成・提供する。 作成に当たっては、文部科学省が作成している「家庭教育手帳」を活用する。	進捗率 A	弘前式しつけマニュアルは、策定の過程で「子育て応援BOOKにこにこひろさき」という名称とされた。 平成24年度は年度当初に2,000部印刷し、保健センターで月2回実施している1歳6か月児健診の際保護者に配布したほか、子育て支援センター、子育てサークル、保育所（園）、児童館・児童センターなどに配布し、市のホームページにも掲載した。また、年度末には子育てサークルや相談機関の情報を最新のものに更新し、平成25年度配付用として2,000部印刷したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
			達成率 A	目標の「しつけマニュアル配布部数」については、1,984部とわずかに目標を下回ったが、子育て支援課に訪れた市民向けに備え付けた分と担当者等の課職員の手持ち分を合わせて16部を除いて全て配布済みであることから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
親力向上委員会開催 2回	－	2	－	
しつけマニュアル配布部数 2,000部×2回	－	－	1,984	
決算額	0	132	518	

事務事業名	今後の課題
しつけマニュアル作成事業	6月議会で、今の冊子よりも上の年齢を対象とした「しつけ指導書」を作成してはどうかという提言があったため、研究してまいりたいとの答弁をしている。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
4-(1)-7	子供会活動の活性化（地域コミュニティの復活）	進捗率 A	施策を構成する2事業ともに、「工程表どおり実施済み」との評価であるため、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	施策を構成する2事業ともに、「概ね順調に推移」との評価であるため、施策全体としては**「概ね順調に推移」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	70	47	320	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
地域全体で青少年を育成する仕組みづくりを進めるために、子ども会活動の現状を検証し、家庭や町会、PTAなど地域団体と連携しながら、子ども会活動の活性化を図る。	(1)青少年育成委員会地区・学区対話集会	進捗率 A	平成24年度の実施対象地区において、青少年育成委員等地区・学区対話集会が実施できていることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	青少年育成委員等地区・学区対話集会の実施に向けて対象の11地区と調整を図ったが、地区の意向により2地区において年度内に実施できなかったが、実績としては9地区となったことから、**「概ね順調に推移」**と評価した。
		今後の課題	単位町会の子ども会や青少年育成委員の活動は様々な要因から不安定な状況になっており、子ども会に限らず子どもに係る活動を調査する方法を検討する必要がある。

目標	H22	H23	H24	H25
対話集会開催数（H23～H24） 市内26地区 15地区（H23）、11地区（H24）	－	15地区	9地区	

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)子ども会活動支援事業	進捗率 A	平成24年度は、各関係機関の会議等において、各々の施策について積極的な周知を行った結果、事業が展開されていると判断できることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 B	目標の1つ目「指導員の派遣」は、26回／年に対し20回の実績であるため、「遅れている」と評価できる。また、目標の2つ目「活性化助成件数」は、6回／年に対し7件の交付を確定したことから、「目標を達成済み」と評価できるため、全体としては**「概ね順調に推移」**と評価した。
	今後の課題	助成制度については、「まちづくり1％システム」制度と競合する施策となっており、より高い成果を目指すためには、事業の目的、補助対象経費及び交付上限額等について、実施方法を検討する必要がある。

目標	H22	H23	H24	H25
指導員の派遣　26回/年	－	－	20	
活性化助成件数（H24～H25） 6件/年	－	－	7	